

| | |
|---------|--------------------------------|
| 事業名称 | Music Meets ～Thank you！文化センター～ |
| 団体名・代表者 | Mr.moon 代表 重谷晶子 |
| 協働の相手方 | 文化国際課 |

| | |
|-------|---|
| 目的 | 姫路市文化センターの長い歴史の中で、市民は吹奏楽コンクールや音楽会、成人式などで施設を利用し、大きな思い出を育んできた。しかし、続くコロナ禍や少子化などの影響で、現在は利用する機会がない人が多い。そのような人にも気軽に参加できる音楽祭を開催し、思い出を共有する。また、今後の音楽文化の活性化を目指し、吹奏楽、ジャズ、ポップスなど、ジャンルの異なる音楽に親しみ学ぶ機会を広める。演奏会は観覧無料、子ども連れの入場も可とし、観客や演奏参加者の多世代間の交流を図り、音楽によるまちの活性化に繋げたい。 |
| 内容 | 姫路市文化センター閉館に伴う市民参加型記念事業。姫路市を中心に活動するバンドやアーティストが集まり、同施設で生演奏の音楽祭を開催する。市民参加ステージも設け、最後に演奏したい人を募り、思い出を共有する。ロビーでは思い出のエピソードを募集し、展示を行う。 |
| 事業経過 | <p>7月15日（木）姫路市市民活動推進課 書類提出</p> <p>7月24日（土）第一回打ち合わせ</p> <p>7月30日（金）インターネット応募フォーム完成、参加募集スタート</p> <p>8月3日（火）姫路市文化センター打ち合わせ</p> <p>8月7日（土）チラシ作成</p> <p>8月10日（火）姫路市文化国際課と協議（チラシ配布先、後援申請）</p> <p>8月11日（水）姫路市から後援承認、チラシ修正</p> <p>8月13日（月）チラシ配布スタート（市内文化関連施設、周辺楽器店など）</p> <p>8月20日（月）兵庫県に緊急事態宣言が発令（～9月30日まで）</p> <p>8月31日（火）一般参加者応募締め切り</p> <p>9月1日（水）選考、パート決め、決定通知、メール送付、練習会場予約</p> <p>9月15日（水）楽譜印刷など合同練習に向けて準備</p> <p>9月17日（金）搬出準備</p> <p>9月18日（土）第一回合同練習 花北市民広場大ホール</p> <p>9月25日（土）第二回打ち合わせ（次回の練習内容、当日タイムテーブルなど）</p> <p>10月4日（月）文化センター打ち合わせ</p> <p>10月8日（金）搬出準備</p> <p>10月9日（土）第二回合同練習 京口演劇練習場 第1練習室</p> <p>10月22日（金）姫路市市民活動推進課 事業進捗状況報告書提出、姫路市文化国際課と協議（進捗状況報告、宣伝方法の課題について）</p> <p>10月23日（土）第三回打ち合わせ（当日タイムテーブル、舞台配置、司会・撮影内容）</p> <p>10月27日（水）舞台配置図・司会原稿作成</p> <p>10月30日（土）搬出準備</p> <p>10月31日（日）第三回合同練習（参加25人）京口演劇練習場 第1練習室9時～17時</p> <p>11月2日（火）搬出準備</p> <p>11月3日（水祝）事業開催 姫路市文化センター小ホール9時～22時</p> <p>11月6日（土）片付け、後援事業実施報告書の作成など</p> <p>11月20日（土）反省会</p> <p>12月 会計まとめ、市民活動推進課に相談、事業報告書作成</p> <p>1月26日（水）事業報告書提出</p> |
| 事業の効果 | 子育て世代や若年層など幅広い年齢の方に参加していただき、音楽の楽しさや充実感をともにわかちあえた。参加者アンケートでは「長らくブランクがあったが久しぶりに活動する機会を得られてよかった」「最後に文化センターで演奏することができた」「また同じような機会があれば参加したい、聞きにきたい」などの声があった。姫路文化センターの閉館に伴い、気軽に参加し思い出を共有するという事業の目的は達成できたと考える。参加者募集チラシの市内配布、練習場所の確保や資料提供など、市との協働による効果も十分に活かされた。 |

今後の展望

今回参加された方が引き続き活動を続けていくことを願うとともに、ご縁があった新しい関わりや活動希望を受け、今後も、さまざまな多くの人々が音楽を通して交流できる機会や、地域の文化力向上の一助となるような催しを、継続的に創出していきたい。

【実施団体の事業総括・感想等】

思い出を共有し懐かしむという目的を達成できただけでなく、多くの感謝、感動があふれる時間になったことが印象に残った。また、さまざまなアーティストや音楽を愛する人との交流の中で、新しいアイデアや今後の活動のヒントを得られた。文化の活性化には補助や助成も必要だが、当事者（参加者も含め）が自主的に自立した活動を行うよう意識を変えていくことが必要だとも感じた。

今回は新規団体にも取り組みやすい枠があり、さまざまなことを学び感じる良い機会をいただけたと思う。初めての試みで、見通しがつきにくい点やさらなる考慮が必要な点もあったが、今後の参考にしていく。アドバイスやサポートをいただいた市民活動推進課、文化国際課の皆様には感謝を申し上げますとともに、今後も姫路市の音楽文化の活性化に貢献していきたい。

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

コロナ禍で制約の多い中、姫路市文化センター閉館の節目に記念となる事業を実施していただき、感謝申し上げます。また、市民の出演者を公募され、楽器にブランクのある方や、文化センターに思い入れのある方など、さまざまな方々とともに舞台上に上がり演奏されたことは、今回の大きな成果であったと思います。今回の事業をきっかけに出会ったアーティストの方々との縁を大切にしていって、今後も「音楽のまち・ひめじ」のますますの発展にご協力をお願いいたします。